

ウツディ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：林産試験場



甦った林地残材

—トドマツ抽出液が大気汚染低減等到大活躍—

ウツデイ エイジ

木材の研究と普及

第64巻・通巻742号

目 次

平成27年度木材接着講習会開催のご案内	1A
甦った林地残材	
トドマツ抽出液が大気汚染低減等に大活躍	3A

●特集『平成27年研究成果発表会』パートII

- ・割れやねじれの少ないカラマツ心持ち正角材
「コアドライ」の開発と利用 1
- ・コアドライ材用修正挽き装置の開発 2
- ・CNC木工旋盤の開発と普及 3
- ・北海道の木製サッシを考える 4
- ・エネルギーおよび化成品原料への
パルププロジェクトの変換 5
- ・地域資源である早生樹「ヤナギ」を
シイタケ栽培へ活用する 6
- ・木質バイオマス発電シミュレーターを作りました 7
- ・木材トレーサビリティ技術を活用した
コアドライ品質管理システム 8
- ・木質材料の高度3次元成形を目指した取り組み 9
- ・樹皮抽出液から糖類とフェノール類を分離する新たな方法 10

行政の窓

- 〔平成26年度の木材市況についてー木材価格の推移ー〕 11
- 林産試ニュース 12



東京駅丸の内駅舎 ドーム屋根 東京都

JR東京駅は2007年から5年の歳月をかけて、南北2カ所のドーム屋根を創建当時の姿に復元しました。

表紙写真のドーム天井の花飾りと梁は、創建当初は木製でしたが、安全面への配慮からガラス繊維強化石膏に木材のような彩色をしたものに置き換えられてしまいました。

素材を含めた復元がなされなかったのは残念ですが、多くの人達が足を止めて壮麗さを取り戻したドーム屋根を見上げていました。